



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌 (医療版)

Vol. 36

2024 Apr

# 手と目と



「チューリップ」  
回復期リハビリテーション病棟  
の作品

## ■Contents■

- 巻頭言
- 特集 ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ  
～私の看護実践～看護部の取り組み
- 部署紹介
- 【連載】  
医療・看護の質向上への取り組み
- 健康のためのちょっとイイお話し
- Information
- 診療スケジュール
- 編集後記

栄光会では、Mission (使命)・  
Passion (熱情)・Action (行動) を  
掲げて励んできました。  
理念が先行し、それに向かつて熱い思い  
を抱き、そして汗を流してきました。

(「栄光会フィロソフィ」より)

「今月のことば」

「手と目と」

この言葉には、  
「手」と「目」で「見る」  
(手+目=看) という  
私たちの思いが込められています



社会医療法人 栄光会 栄光病院  
理事長・院長 井上 裕



コロナがやってきて足掛け5年になります。これだけ長いあいだ、私達を悩ませる「禍」となるなんて、初めは思ってもみませんでした。1917年頃のスペイン風邪でも3年くらいと聞いていましたので、この長さは驚きであるとともに「コロナはすっかり根付いてしまったのではないかと危惧することもあります。」

最初期のころ「37.5度以上が4日以上続かないとPCR検査ができない」という日本の状況を覚えている人はもう少ないと思います。私達は外来で熱の続く方々をハラハラしながら見守り、自分の感染や院内感染を怖れながらPCRができる日を待つという構図でしたし、肺炎で急に状況が悪化し亡くなる方も多かったです。このスタートは我々医療者にも大きな傷を残しています。

今では外来でコロナはごく普通の病気になりました。内服薬、注射薬も開発されました。ワクチンもでき、また医療体制もすっかりしたものができたとあります。ではインフルエンザと同等の対策でのぞんでいいかというと、まだまだそうはいかないようです。重症度はずいぶん下がり、病棟で感染が広まってもかつてほどの重篤な状況はないようです。しかしコロナの感染力はまだまだ高いと思われれます。そのため病棟でかつて私達がインフルエンザに対応していたレベルに戻せるかという疑問が残ります。規模の大きな病棟感染では、隔離や面会制限はしばらく続けなくてはいけないのが現状です。

一方で私達の「しぼり」はずいぶん変わっていきました。院内のマスク着用こそ続いています。職員への食制限はやめました。昨年には職員のボウリング大会を本当に久しぶりにやりましたし、12月には4年ぶりの忘年会を再開することができました。職員の笑顔は印象的であり、頑張つて再開して本当によかったと思つたものです。

患者さんやご家族の皆様には、いましばらくご不自由をおかけすることになると思いますが、いつか夜が明ける日のことを願いつつ、「コロナとともに生きる」をスローガンのひとつに掲げ栄光会は頑張つていく所存ですので、よろしくお願ひ申し上げます。

## 『ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ ～わたしの看護実践～』

### 看護部の取り組みについて



看護部では、『栄光会理念（フィロソフィ）を理解し、実践できる看護部となる』という目標を掲げ、栄光会フィロソフィを基盤としたケアの提供に向けた取り組みを行ってまいりました。

2023年度、その取り組みの集大成として、『ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ～私の看護実践～』というテーマで発表会を開催しました。

そこには看護職員の患者さん・利用者さん・ご家族に対する温かいおもてなしの心がたくさん詰まっていました。

全ての看護職が、日頃どんな働きをしているのか間近でみることはできませんが、発表を通して栄光会の理念が、看護部の隅々まで浸透していることを実感することができました。今回は、心温まる看護実践をいくつかご紹介いたします。



# 特集

ウキウキ・ワクワク・フィロソフィ  
～わたしの看護実践～

「癒し癒される」医療・看護・介護をみざる



ケアをする中で、忍耐を求められることは多く、逃げだしたい気持ちになることもあります。しかし逃げださず、忍耐を続けた結果、患者さん・家族の方から、温かい言葉をもらった経験が多くあります。

娘の介護のために、母親が24時間付き添い、介護にのめりこむ日々で孤独を感じ、母親の辛い気持ちを励ますため、病棟スタッフ、リハビリスタッフの協力も得て、小さなクリスマス会を開きました。

久しぶりに母親の笑顔も見られ、会の後に「私は一人だと思っていたけど、周りにはこんなにたくさん私達を支えてくれている人達がいるということを感じた。本当に嬉しかった」と話してくれました。

感謝の心を直に感じ、私自身の癒しにもなり、また次へのケアに励む原動力として、今でも大事な思い出になっています。

(3A病棟 永松 咲)



「病む人・老いた人の幸せに役に立ちたい」との思いで仕える

栄光会創立の精神に基づいて、私たちは「温かいおもてなし」の思いを込めてお仕えます。  
そして、その関わりが最終的に「幸せと生き甲斐」に役立つことを使命とします。

コロナワクチン接種が開始になり近隣住民の方々がクリニックへ訪れる機会が多くなった。その中でもクリニックの近くに住まれているA氏が印象に残っている。A氏はコロナワクチン接種の回数を重ねる毎に、「予約の方法がわからない・接種日はいつなのか」など質問が多くなっていった。また、同じ日に数回来院され、同じ質問を繰り返されるようになりクリニックスタッフ全員で対応していた。

来院されるたびに「ここに来たら、みなさん優しく教えてくださるので何度も来てしまうんです。ごめんなさいね」と安心して笑顔で帰宅された。認知症が数年で悪化してきていると感じ、クリニック受診を促したり、役場に対応を依頼したりした。クリニックでの対応にも限界を感じ、地域協働部に相談し、認知症チームの紹介に繋がった。フィロソフィ44頁の栄光会創立の精神がクリニックで行っていた「おもてなしの心」で寄り添えたことは良かったと思えた。

最後に、45頁にある「人の『幸せと生き甲斐』」に関わっているのだと銘記して、ひとりひとりに心込めて仕えていきたいと思います。

(ファミリークリニック 久保山佳子)



春～夏にかけて咲く、白い「ハナミズキ」小粒の花びらで豪華さは無いが、秋には葉っぱが紅葉、冬には落葉し枯れ木となる。玄関立ちを始めて、毎年過ぎ行く一年間を教えてくれる象徴でもあります。2005年栄光病院の入口に竣工記念として植樹されたのです。花言葉に「永続性」「ありがとう」とありました。18年以上玄関を出入りする方々を見守り、心から「来てくれてありがとう」と言っているように思います。私にとっては癒される樹木です。栄光病院での38年間、ホスピス病棟が独立する前、一般病棟(混合病棟)で10名弱のターミナル患者さんを看っていた経験。当初わたしも30代半ばで、初めて在宅・訪看を立ち上げメンバーの一員として外来と兼務での仕事。携帯電話の無い時代に自宅の固定電話でのオンコール。ターミナル患者さんの24時間点滴の更新。様々な経験を得て数え切れない程の患者さん・家族の方達とのコミュニケーションをとることが出来ました。この時代があったから今の私があるのです。今は総合案内でひとりひとりへの挨拶・声かけから生まれるコミュニケーション。沢山の「ありがとうございました」「お疲れ様」など心温まる言葉を頂きます。来館者に癒される思いです。

(外来(総合案内) 池田よしの)



各科の先生が患者さんの病気を疑ったとき、画像をもって診察を補助することが放射線室の仕事です。

例えば、患者さんが頭痛や腹痛で来院されたとき、まずは先生の診察を受けることとなります。その上で、先生が検査をした方が良いと判断をされたとき、初めて放射線室にお越しいただくこととなります。そこで症状に合わせた医療機器を使い、検査を行うのが我々放射線室スタッフの役割です。

医師の依頼のもと、さまざまな装置を用いて撮影し画像情報を提供、また撮影するだけでなく、スタッフ全員が診断や治療に役立ち、更に患者さんに説明しやすい画像の作成を心掛けています。

### ■ 一般撮影



X線を使用し、骨や胸などの疾患を部位ごとに撮影しています。

当院では、デジタルによるCR装置とFPD装置でスタッフ全員が低線量・低被ばくで患者さんにやさしい撮影を心掛けています。

### ■ CT装置



CTとはComputed Tomography(コンピュータ断層撮影)の略称です。

レントゲンで使用されるものと同じ、X線を利用して撮影を行います。X線装置を体の周りで高速回転させて撮影することで、レントゲン検査では得られない、体の輪切りの画像を作ることができます。

### ■ 1.5T MRI装置



MRI検査は、磁気共鳴によって検査をしているので放射線による被ばくはありません。脳や脊椎、お腹などの部位を任意の断面で画像を得ることができます。CT検査で判断できない急性期の脳梗塞症例にもMRI検査で描出する事が可能です。

### ■ 乳房X線撮影装置(マンモグラフィー)



マンモグラフィは乳房を圧迫し撮影することで乳腺をより画像上で見やすくし、乳がんなどの乳腺の疾患を発見することができる検査です。当院は一昨年装置を新しくし、以前の装置と比較して少ない被ばく線量で高画質な画像が得られるようになりました。

### ■ 透視検査



X線を使用して、リアルタイムで体内を観察できる装置のことです。X線透視では様々な検査が行われますが、主に嚥下造影、胃バリウム造影などが行われます。X線透視で行われる多くの検査が造影剤というX線がとりにくい薬剤を使用します。造影剤を使うことで透視の画像に影をつくり、その影を観察することで物のかたちや身体の機能を評価します。

『創傷管理委員会』は看護部の委員会の一つですが、医師や管理栄養士、薬剤師、リハビリスタッフなど多職種で情報を共有し、協力しながら活動している委員会です

### ◆褥瘡(床ずれ)とは？

『床ずれ』一度は聞いたことがある言葉ではないでしょうか？

床ずれとは、専門用語で『褥瘡(じょくそう)』といいます。

褥瘡とは、お尻やかかと、足の付け根など骨が突出している部分などに長時間外力(がいりょく)が加わることで発生します。

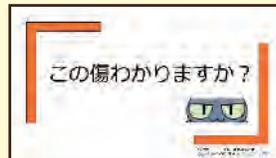
外力とは、主に自身の体重や皮膚と衣服などが摩擦を起こすことで発生する力のことです。外力が長時間同じ部分に加わると、皮膚の血流が悪くなり、褥瘡が発生してしまいます。



### ◆創傷管理委員会の活動内容

では、ここからは創傷管理委員会の1年間の活動を少しご報告したいと思います。

- ① **毎月の委員会開催**：前月の褥瘡の発生状況や情報交換、知識向上などのミニ勉強会などを行っています。
- ② **創傷回診**：毎週月曜日に専任医師・専任看護師・管理栄養士・薬剤師・リハビリスタッフ・各病棟の委員で構成されるチームで回診を行っています。創の状態や処置内容、使用する薬剤などを相談検討するだけでなく、栄養面やベッドや車いす乗車時の体勢なども含め多方面から、創傷治療・ケアを検討しています。
- ③ **勉強会の開催**：毎年、看護部研修会を通して褥瘡に関するだけでなく、創傷についてや薬剤の選び方など、様々なテーマで勉強会を開催しています。昨年は、様々な皮膚の状態や創傷の見分け方について勉強会を行いました。



- ④ **委員会たよりの発行**：不定期ではありますが、褥瘡に関する情報はもちろん、スキンケアについてなどの季節に合わせたテーマなどの情報を掲載しています。また、褥瘡発生ゼロを達成した病棟の紹介などを掲載しています。掲示板は各病棟の廊下などに貼り出しておりますので、お気づきの際はぜひ一読ください。



- ⑤ **褥瘡発生リスクの評価**：入院時に全患者さんを対象に褥瘡発生リスクの評価を実施しています。また毎週病棟の委員と専任看護師を中心に再評価を行い、リスクがある患者さんには個別に褥瘡発生予防のための計画を立て、看護を行っています。
- ⑥ **認定看護師による相談**：現在、当委員会には皮膚・排泄ケア認定看護師が1名在籍し、専任看護師として週に2.5日活動をしています。創傷だけでなくストーマケアや失禁ケアに関する相談なども受け、スタッフとともに対策やケアを検討しています。

その他にも、ベッドマットレスは基本褥瘡予防に有効な体圧分散マットレスを全ベッド採用しています。床ずれは予防が可能な傷です。当院では少しでも患者さんが安心して快適に生活できるよう、床ずれ予防にこれからも、スタッフみんなで取り組んでまいりたいと思います。

# 健康のための

## ちよつとイイお話し

### 耳掃除について

皆さんは、耳掃除はよくする方ですか？それは、なぜなのでしょう。「必ずしなければならぬ」「気持ちがいいから」などの理由からでしょうか。本当は耳掃除は必要ないのです。

図にあるように耳の穴には、外耳道があり、突き当りが鼓膜です。入り口に近い方は、指を入れて柔らかい「軟骨部」。その奥のかたい部分「骨部」で耳かきなどで触ると痛いところです。この「骨部」の皮膚は常に鼓膜から外に向かってゆっくりと移動して自然にきれいになっていきます。これが、「軟骨部」との境ではがれ落ち、「軟骨部」にある耳垢腺や皮脂腺から出る分泌物と混ざって耳垢となって溜まってくるのです。この耳垢は、放っておいても自然に出てくるのです。「いやいや、入り口に溜まっているのが嫌なんだよ。いやな匂いもするし。かゆくなくて気になるし」しかし、外から見ても耳垢があると気づくことは殆んどありません。

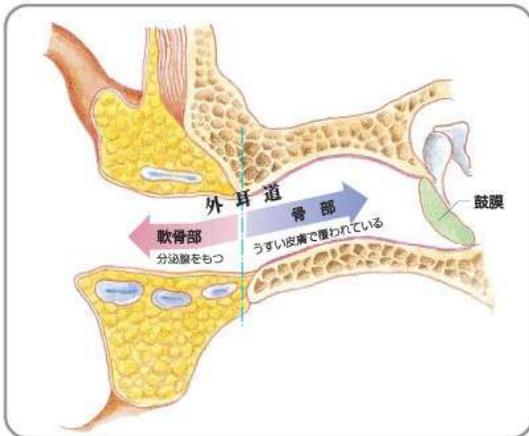


増田耳鼻咽喉科医院

院長 増田 孝

かゆくなくても指でこそごそするくらいなら良いのですが、いつも耳がかゆい人は、炎症が起きていることが多く、これはすぐには治りません。1回の治療でかゆみがなくなることは、ほとんど無く、ついつい気になり触ってしまい、そしてまた、かゆくなるという悪いサイクルを繰り返して、段々、悪化して汁が出たりしてしまふのです。こうなってしまうと頻回に治療が必要になってきますので、このようになる前に耳鼻科で治してもらいましょう。

また、最近はいやホンで外耳炎を起こす方を見かけます。接触性皮膚炎やイヤホンの汚れが原因のこともありますので、注意しましょう。



#### 増田耳鼻咽喉科医院

☎ 092-411-0845

【診療時間】(夕方の受付時間は終了の15分前)

平日(月~金) 9:00~13:00//15:00~18:00

土曜日 9:00~13:00

日曜・祝日休診

院長 増田 孝 先生

住所 〒812-0007 福岡市博多区東比恵 4-4-10  
(比恵バス停前)



## 新入職ドクターのご紹介



**川上 豪仁**

かわかみ たけひと

所属 ホスピス病棟

〈所属学会 / 専門医等〉  
日本緩和医療学会認定医  
がん治療認定医  
日本外科学会認定医

3月より再入職ですが宜しくお願ひ致します。主にホスピス3B病棟で勤務しております医師の川上と申します。1999年に福岡大学を卒業し、当初は呼吸器外科医でした。肺癌の手術が主たる仕事でしたが、難治癌である肺癌に関わっていると自然に再発した患者さんを診る機会が多くあり、いつしか緩和医療、ホスピスに興味を持つようになりました。2011年より他の病院のホスピスで勤務、2022年に栄光病院に着任致しましたが自身の病気で一時退職、無事回復して再度の入職となりました。医師としての初心に立ち帰り、病んだ経験も踏まえて目の前の患者さん、ご家族と向き合っ参りたいと思います。自問自答の日々ですが、自分なりの“正解”に少しでも近づけるよう歩んで参りたいと思います。宜しくお願ひ致します。



**竹之山 利夫**

たけのやま としお

所属 回復期リハビリテーション病棟

新入職しました、竹之山利夫（たけのやまとしお）です。出身は宮崎県宮崎市で、高校は故折田総院長と同じ宮崎大宮高校です。九大第二内科、福岡東医療センターで、急性期から慢性期にいたるまで、脳卒中の診断、治療、リハビリテーションを専門にしました。その後、二つの病院の回復期病棟の立ちあげ、運営に従事しました。70歳を機に院長職を辞して、回復期病棟専従医として診療現場で働くことにしました。よろしくお願ひします。

〈所属学会 / 専門医等〉  
リハビリテーション科専門医  
公益社団法人日本リハビリテーション医学会  
認定臨床医（終身）  
認知症サポート医



**園田 耕三**

そのだ こうぞう

所属 回復期リハビリテーション病棟

令和6年4月1日から栄光病院に勤務させていただくこととなりました。これまで是一般外科を担当しておりましたが、こちらでは様々な疾患の診療が必要とされますので、1日でも早く戦力となれるように精進してまいりますので、皆様よろしくお願ひ申し上げます。

〈所属学会 / 専門医等〉  
日本外科学会  
日本がん治療学会  
外科学会外科専門医  
がん治療認定医



**白川 剛**

しらかわ つよし

所属 健診センター

皆様方はじめまして、健診センターで勤務させていただき、白川剛と申します。九州大学の腫瘍内科出身で、九州を中心とした多施設共同研究（NAPOLEON study）の総括責任者も務めており、細やかながら学会・論文発表をさせていただいております。1日でも早く業務に慣れて、微力ながら健診センター及び病院に貢献させていただける様に精一杯励む所存ですので、何卒どうぞ宜しくお願ひ申し上げます。

〈所属学会 / 専門医等〉 医学博士  
日本内科学会 認定内科医、総合内科専門医  
日本臨床腫瘍学会 がん薬物療法専門医、指導医  
日本消化器病学会 専門医、指導医  
日本緩和医療学会 認定医  
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医  
緩和ケア研修会 指導者資格  
アメリカ臨床腫瘍学会（ASCO） Active Member  
ヨーロッパ臨床腫瘍学会（ESMO） Full Member



**洲崎 蓉史**

ふちざき ようじ

所属 ホスピス病棟

2024年4月にホスピス緩和ケアの医師として入職をいたしました洲崎蓉史と申します。2017年に旭川医科大学を卒業し、地元である福岡県内の急性期病院で総合内科、腫瘍内科、緩和ケア科の診療に従事して参りました。長い間地域に根ざしたホスピスケアを実践されている栄光病院で、今までの経験や知識を活かしながら皆様のお役に立てるよう頑張っていきたいと思っております。どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

〈所属学会 / 専門医等〉  
日本内科学会  
日本緩和医療学会  
日本臨床腫瘍学会  
日本専門医機構認定内科専門医



**村田 修一**

むらた しゅういち

所属 ホスピス病棟

今年度からホスピスに配属になりました村田修一です。大学卒業後は関西地方で腫瘍内科医として主に化学療法や緩和ケアに携わってきました。患者様のご希望とこちらが提供できることをすり合わせながら最善の道を一緒に考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願ひいたします。

〈所属学会 / 専門医等〉  
日本内科学会  
日本臨床腫瘍学会  
日本緩和医療学会

曜日	月		火		水		木		金		土		
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
総合	①	原	藤木	布巻	原	青戸	安藤	原/安藤	永井	藤岡	青戸	原/安藤	手越
	②	当番医		鶴田		原		斎藤		鶴田		手越	
外科		井上		園田		井上/斎藤		斎藤		斎藤		園田	園田 (初診のみ) 受付16:30迄
専門・ 予約 外来	循環器					畑島	折田義也	折田加奈子	吉田賢明				
	呼吸器				安藤					安藤		秋山(第1土曜) 武田(第3土曜)	
	糖尿病			永井	永井	二宮		永井					
	脳神経内科	鶴田		大野		藤木		大野		藤木			
	整形外科		山口	本村				原雄人 (am10:00~)					
	泌尿器科											九大	

**土曜日 午後 の 外科診療**  
 行っています **但し、初診のみ**  
 けがやけど、動物に咬まれた、打撲等  
 ※医師は井上・斎藤が交替で担当します  
 ※受付は16:30までです

診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。  
 予めご了承ください。

- 診療時間は、9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)となっています。  
 なお、午前中の受付は12:00までとなっておりますので  
 ご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。
- 専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。  
 ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

**【救急外来受付】**  
**救急患者さんの受け入れを**  
**24時間体制で行っています**  
 ※事前に **お電話にて**  
**診療科の確認をお願いいたします**  
**TEL.092-935-0147**

栄光病院グロリア基金のご案内

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

**【グロリア基金 お振込口座】**  
 栄光病院グロリア基金 代表 井上裕  
 西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165  
 福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197  
 郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)  
 \*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます

編集後記

いよいよ新年度が始まりました。世界では胸を打たれるような、そして胸が痛むような出来事が起きておりますが、皆様は様々な思いで新年度を迎えたいらっしゃると思います。

先日、新年度を迎えるにあたり、実家の片付けを手伝おうと帰省しました。まあ、物が多くてどこから手をつけてよいのやら。両親曰く、「数十年の思い出が沢山あって捨てられない」と。そう言われてみると、一つ一つの物からいくつもの思い出が溢れてきます。

栄光会にも沢山の思い出があります。大事に大事にしていきたいですね。

今年度も4月から複数の方が入職しました。新入職者の新しい風を感じながら、温かい思い出を作っていきたいと思っています。今年度もよろしく願いいたします。(加来)



救急告示病院

社会医療法人 栄光会

栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel.092(935)0147

Fax.092(936)3370

URL: <https://www.eikoh.or.jp>

E-mail: [eikoh@eikoh.or.jp](mailto:eikoh@eikoh.or.jp)